



# 山口県地域景観ワークショップ通信第7版

## 山陽小野田市セメント町と公園通り周辺地区編

- 平成 19 年 2 月に山陽小野田市で開催しました地域景観ワークショップにご参加いただきまして、誠にありがとうございました。
- 景観の専門家による景観にまつわるセミナー、景観を探して歩いたタウンウォッチング、そして、壁新聞づくり。
- たった半日の催しでしたが、自分の五感をフル活用して景観を発見する方法を習得いただけただけでしょうか？また、セメント町地区の景観の特徴を少しでも感じることができたでしょうか？
- 参加した当日を思い出して、みなさまの身のまわりを少し眺めたり、歩いてみてはいかがでしょうか。見慣れた風景のなかからたくさんの魅力を発見できるかもしれませんよ。

山陽小野田市

セメント町と公園通り周辺地区

開催日	2月10日(土)
-----	----------

場所	山陽小野田市太平洋セメント(株)小野田工場内
----	------------------------

参加数	40名(4グループ) 地元在住の方、市外在住の方、大学生など様々な立場の方が参加されました。
-----	---

会場を貸していただいた太平洋セメントの工場長徳本耕造さん、及び市都市計画課中村課長補佐から、「小野田とセメントについて」というお話を伺いました。

地  
元  
プ  
チ  
情  
報



太平洋セメント(株)  
徳本耕造工場長

まず、市都市計画課中村課長補佐から小野田の歴史についてのお話を伺いました。

小野田のまちは、江戸時代末期の干拓に始まりました。笠井順八翁がセメント製造会社や小野田軽便鉄道、小野田銀行を設立し、名誉市民第1号に選ばれています。明治40年頃には1万人余りの人口になり、セメントの発展とともに、小野田の町が発展したといえます。



山陽小野田市都市計画課  
中村補佐

次に、太平洋セメントの工場長徳本耕造さんからセメントについてのお話を伺いました。

明治14年(125年前)に民間初のセメント工場として小野田セメントが設立されました。

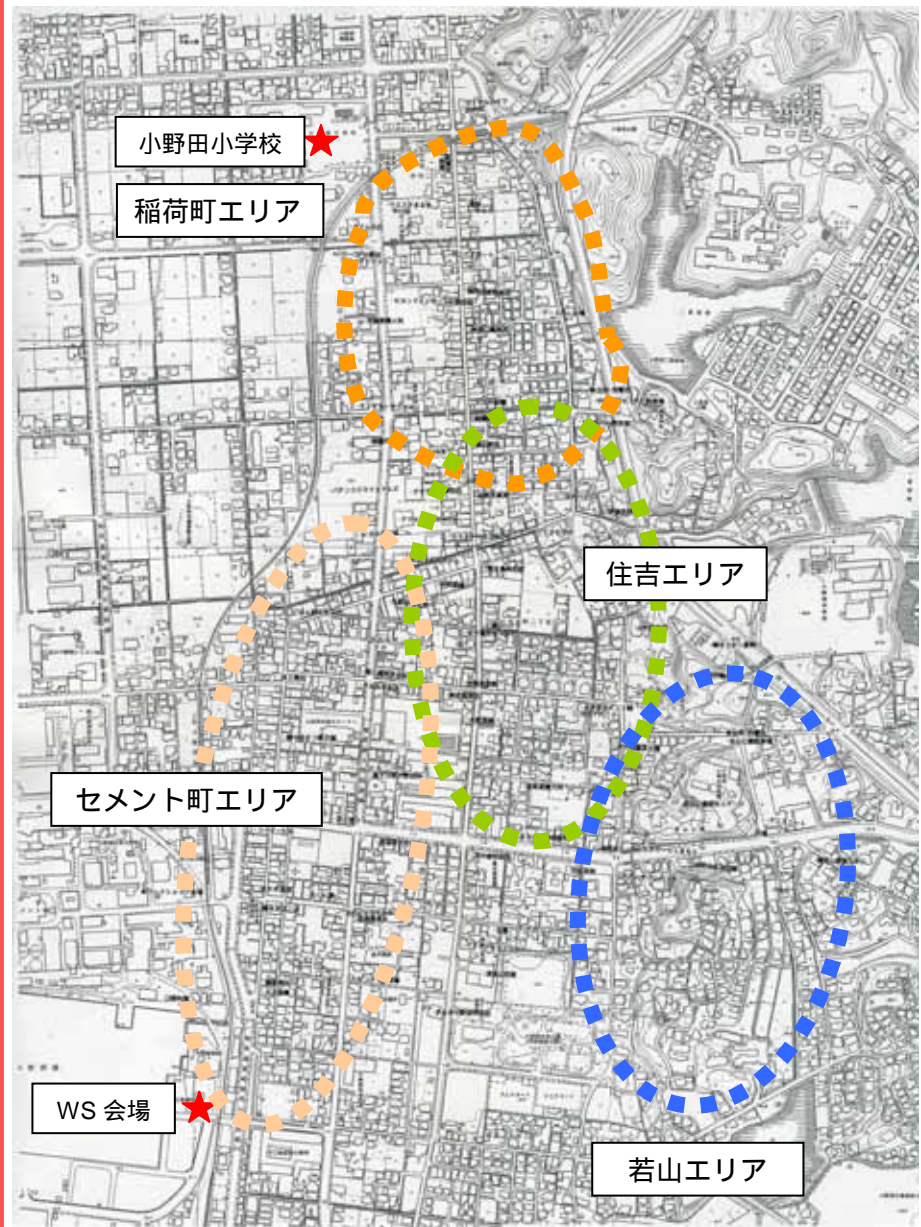
1914年(大正3年)にコンクリートブロック造の山手倶楽部が完成しました。

徳利窯は1969年(昭和44年)に県指定有形文化財に登録され、平成16年には国指定の有形文化財として登録されました。

住吉社宅は、まちづくり市民会議で有効利用を検討中です。

セメント町と公園通り周辺地区では、4グループに分かれて、4つのエリア（セメント町エリア・稲荷町エリア・住吉エリア、若山エリア）を見て歩きました。

心地よい風、木漏れ日、鳥のさえずり、潮の香りなど、風景をより魅力的に演出する要素がさまざまありました。内容的には、自分の住むまちをまた違った見方、考え方ができ大変有意義な時間を過ごすことが出来たと感謝しています。



セメント町エリア

3班「小野田はここから始まった  
～セメントづくし～」



- 徳利窯でセメントの気持ちを考える
- セメント製品の歴史とまちが一体



稲荷町エリア

2班「チラリと昔が見える街」



- 渚線を軸にまちが発展。昔の名残が...
- 古井戸、川二ナ、しじみ...まさに景観
- 一押しは「硫酸ビン垣」



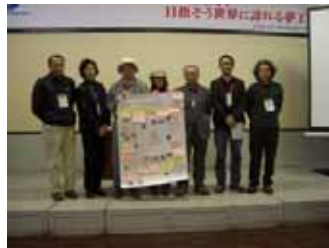
小野田らしい景観は  
見つかりましたか？

- 温かみを感じるエリア
- 8種類の塀が歴史を物語っていた
- 一押しもやはり「ヘイ」でした



- 笠井順八翁像がおすすめ
- 美しい風景や生活があるが、その歴史をつくりだした笠井さんに感謝
- 彼が見たのはコンクリート工場か？

1班「塀くらべ」



4班「笠井さん!! あなたの  
目には何が見えますか？」

住吉エリア

若山エリア

## タウンウォッチングの様子



徳利窯



小野田線の鉄橋



お稲荷様



旧割烹の赤レンガ



セメントレンガ塀



笠井順八翁像



伊藤医院



ワークショップ会場の太平洋セメント(株)小野田工場。会場を快く御貸しいただき本当にありがとうございました



タウンウォッチング後に豚汁で温まりました。須恵地区社会福祉協議会のみなさんありがとうございました



セメント樽の形のお菓子「せめんたる」



「せめんたる」生産者の恒松様よりご紹介いただきました

## ワークショップを終えて

ファシリテーター  
瀬口哲義氏



瀬口様は、本日 WS の進行役のファシリテーターとしてご活躍されました。

壁新聞の発表を見させていただき、参加された皆さんがまち歩きなどでまちを直接経験することで、景観を見る目が育ったようです。

みなさんには今まで以上に、セメント町だけでなく、市内をしっかりと見て、「景観とは何か？」などを考えていただく機会になったら、うれしいです。

景観アドバイザー  
小山哲彦氏

小山様は、WS の進行を記録するファシリテーショングラフィックをつとめました。

私は山口市に住んでいますが、小野田のように煙突をたくさん見ることはできません。普通に煙突がある風景に感謝してほしいな、と思いました。

小野田は近代的な新しい風景である。塀がたくさんあっておどろきました。ちょっと古いまちなみが魅力的なのだなと思いました。

